

御意見箱 ご意見と回答（令和8年5月分 一部抜粋）

No.	投 書 内 容	対 応 ・ 回 答
1	入院中にレンタルしているパジャマにポケットが付いておらず不便。今後入院する患者のためにポケット付きのパジャマにしてほしい。	いただいたご意見について、担当業者（ワタキューセイモア株式会社）にお伝えしたところ、以下のとおり回答がありました。 「ポケットがございますと患者さんの忘れ物が混入する可能性があるため、ポケットがない仕様になさせていただきます。今後におきましては、いただいたご意見を商品に反映できるよう取り組んでまいります。」
2	駐車場の有料化に伴い自転車で通院するようになったが、駐輪場が常に混雑し、停めるのに苦労している。学生らしき人の長時間駐輪も見受けられるため、通院患者専用の駐輪場をつくってほしい。学生専用・通院患者専用など停める場所を指定してほしい。	この度は病院駐輪場のご利用に際しご不便をおかけし、申し訳ございません。ご指摘のとおり、現在、病院駐輪場はバイク専用駐輪場を含め多数の皆様にご利用いただき、時間帯にもよりますが置き場所に困る状態も発生しております。 外来診療棟東側（鴨川沿い）の駐輪場につきましては、患者さん優先とさせていただいているところですが、当院は教育機関としての側面も有しており学生の利用も多いことから、現時点で明確に「患者さん専用」「学生専用」といった区分を設けることについては、時間帯によっては一部が空いている一方で他方が満車となるなど、かえって利用しづらくなる可能性があることから、慎重に検討する必要がある状況です。 また、病院敷地の制約上、これ以上駐輪場のスペースを広げることは困難な状況ですが、1台でも多く駐輪が可能となるよう、係員が巡回し自転車の整理整頓を行う、駐輪スペース内（枠内）に駐輪していただくよう注意を促す、長期間放置されているとみなした自転車等については他の場所へ移動するなどの取り組みを行っています。引き続きこれらの対応を強化し、限られた駐輪場ですが有効かつ安全にご利用いただけるよう努めてまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
3	最近、医療用ユニフォーム（スクラブ）を着たまま1階のカフェを利用しているスタッフを目にし、業務中に付着した血液や体液などの飛沫による衛生面・感染症への不安を感じている。 スクラブを着たままカフェに出入りすることについてスタッフに尋ねても、対応が不誠実。コロナ禍を経て、院内の感染対策に対する緊張感や警戒感が薄れているように見受けられる。スタッフのカフェの利用自体を否定するわけではないが、医療職として感染拡大のリスクを十分に認識し、衛生意識の向上に努めてほしい。	この度は、職員のユニフォームおよび院内共有スペースの利用に関し、貴重なご意見をいただきありがとうございます。医療用スクラブを着用した職員が喫茶店などを利用している様子をご覧になり、血液・唾液を含む体液などの付着や感染を広げることに繋がらないかご不安を感じられたことと存じます。また、職員へのお尋ねに対して十分にご説明できず、ご不快な思いをおかけしたことにつきましてもお詫び申し上げます。 当院では、感染対策の基本として、病名の有無にかかわらず血液・体液・分泌物等を感染の可能性があるものとして取り扱う「標準予防策」に基づき、手指衛生、マスク・手袋・エプロン・ガウン等の个人防护具の使用、処置後の个人防护具の適切な取り外し・廃棄、必要時の着替えを行っています。処置時に着用するエプロン・ガウン等を着けたまま、喫茶店などの共用スペースを利用することのないよう管理しています。 医療用スクラブや白衣についても、血液・体液などによる汚染がある場合、または汚染が疑われる場合には速やかに交換し、清潔な状態を保つことを基本としています。適切に管理されたユニフォームから感染が広がるリスクは高くはないと考えられますが、患者さんに安心して院内でお過ごしいただけるよう、見た目の清潔さや周囲への配慮も重要であると受け止めております。 今回のご意見を踏まえ、職員に対して手指衛生、个人防护具の適切な着脱、汚染時の速やかな交換、院内共有スペース利用時の身だしなみ及び患者さんへの丁寧な対応について、改めて周知してまいります。
4	初めての通院、入院場所でしたが、皆様方に親身にしていただき、本人、家族が安心して過ごすことができました。術後も入院生活を振り返りながら、無理なく順調に回復できるよう過ごして参ります。皆様方のご対応に感謝申し上げます。	嬉しいお言葉をいただき、ありがとうございます。初めての通院・入院で、ご本人もご家族も緊張や不安が大きかったこととお察しいたします。今後も患者さんとご家族に寄り添ったケアを提供してまいります。ご自宅に戻られてからも、無理をなさらず、ご自身のペースで一步步づつ健やかな日々を取り戻してってください。
5	この度の入院中、大変お世話になり有難うございました。言葉に尽くせない篤い看護を賜り、本当に感謝いたしております。ご担当の方がベッドサイドにお越しのたびにお掛けいただくお言葉の一言一言に元気づけられ、何とか闘病生活を乗り越えることができました。皆様方におかれましては日々ご多忙続きのことと拝察申し上げますが、今後も病魔と戦う患者の支えとなられますよう陰ながらお祈り申し上げます。	心温まるお言葉をいただき、深く感謝申し上げます。ベッドサイドでのお声がけが、辛い闘病生活を乗り越える力になったと伺い、看護師一同大きな励みになります。これからは病気と闘う患者さんの確かな支えとなれるよう、誠心誠意、看護に励んでまいります。